

自然エネルギー信州ネット 小水力部会 HYDRO

運営 方針

長野県は、2010年度環境省の調査によれば、今後導入可能性がある地点数は、1619地点で全国1位(新潟県と同数)、導入ポテンシャル(設備容量)は、1398万KWで全国6位となっています、この豊富な水資源を利用して、加速度的にメイドイン信州として小水力発電を普及していくことを目的とします。

活動目標

- 水力発電は、日本国内では明治の時代より導入が進んだエネルギーであり、古くから国産エネルギーとして位置付けられているが、近年では技術の進歩や発想の転換により小水力発電が関心を集めるようになってきた、小水力専門部会としては、適地の選定、水利権の申請、設備設計と、一連の情報を整備し、情報を共有する。
- 最新技術の調査、制度の見直しを行い、採算ベースに乗るビジネスモデルを構築する。

小水力部会活動計画

分類	活動計画
適地の選定	長野県内の適地を小水力部会で2・3箇所選定し、告知を行った後、見学会を開催する
水利権の申請	水利権の申請を中心に、初心者が聞いても理解できる講演会・勉強会を行う
設備設計 技術調査	最新技術の調査ならびに制度の見直しをふまえ採算ベースにのるビジネスモデルのための設備設計に取り組む(Made in 信州)

小水力部会の取組み

HYDRO

講習会・見学会

平成24年2月10日【自然エネルギー小水力発電講習会】開催



長野県県民文化会館ホクト文化ホール3階第2会議室において、小水力発電を普及するために重要となっている水利権のお話を中心に、全般を講習しました。

講師:国土交通省 北陸地方整備局 千曲河川事務所 北澤 慎一氏 早福 勝彦氏

実際に水利権を申請するときに担当していただく方を講師に迎え、手続きを中心とした資料A4(47枚)、実務に即したお話と、質疑応答により、有意義な開催になりました。(参加者40名)

平成23年3月4日【ナノ水力発電施設見学会】開催



上伊那郡辰野町の小規模水力発電施設を見学。
コンテナ内で、この施設で作られた電気を使ったLED、蛍光灯などの照明がデモンストレーションされている。

小水力部会

平成23年12月6日
長野市 新建ビル5Fにて、最初の小水力部会が開催されました。



平成24年2月10日ホクト文化ホール第2回小水力部会 平成24年3月4日川島介護予防センター「蛇石の里」第3回小水力部会